

NEW Component



TesiraCONNECT TC-5D

Flexible Connectivity, Endless Design Possibilities

biamp.

DanteとAVBを統合するメディアブリッジモード搭載

『TesiraCONNECT TC-5D』がいよいよ発売開始

TesiraCONNECT TC-5Dは、TesiraシステムへのDanteまたはAVBインターフェースとしてコンフィグ可能なAVB対応5ポートPoE+ネットワークスイッチです。

FEATURES

- ・100/1000Mイーサネットを備えた5ポートスイッチングハブ
- ・5ポート全てAVB/Dante対応で、ポートの役割を自動検出 (AVB/Dante単独、Dante+AVBブリッジ)
- ・メディアブリッジとして機能する場合のネットワークI/O :
Dante : 32x32チャンネル、32フロー、32 Con / Monチャンネル
AVB : 128x128チャンネルおよび64ストリーム
Danteを介したAES67対応
- ・5ポートすべてがコントロールトラフィックを通過
- ・4ポートは120W PoEバジェットを備えたPoE+class4を提供
- ・RSTP (高速スパンニングツリー) のサポート
- ・IGMPスヌーピングサポート
- ・単一のシステムで最大4台のTesiraCONNECTを接続可
- ・ユニバーサル外部電源

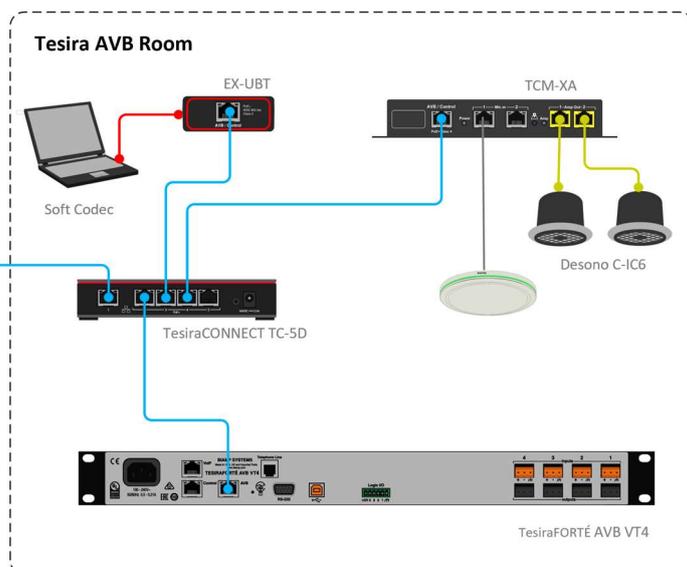
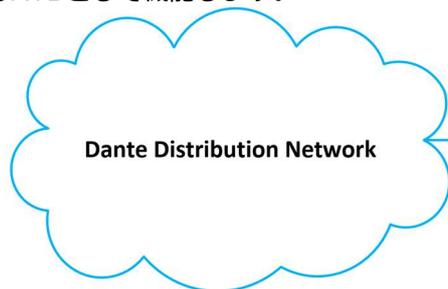


High : 48 mm
Width : 147 mm
Depth : 147 mm
Weight: 0.7 kg

TC-5Dでのシステム導入例

DanteデバイスをAVBで構築されたTesiraシステムに接続

DanteデバイスはTesira AVBシステムに統合でき、TC-5DはDanteメディアブリッジしAVBとして機能します。



Danteネットワーク統合では、Danteデバイス間をDanteコントローラーを用いてTesiraConnect TC-5Dとアサインし、TC-5Dから先はAVBとして構築しコンフィグが作成できTESIRAでのコンフィグ作成が簡単で分かりやすくなります。

DanteブロックをAVBで構築されたコンフィグに追加できます

コンフィグ作成後にコンパイルを行うと、コンパイラは自動的にTC-5Dデバイスを Equipment Table に追加し、それを Dante ブロックへ割り当てます。

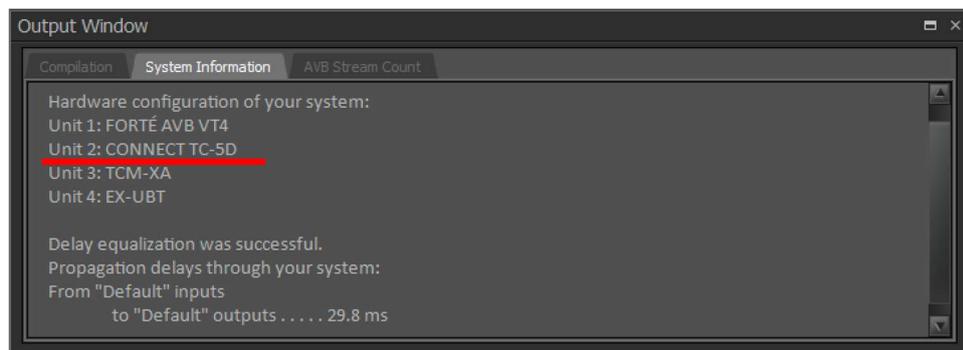


この例では2チャンネルのDanteInputコンポーネントブロックと2チャンネルのDanteOutputコンポーネントブロックが Unit:2に割り当てられています。コンフィグのコンパイルの結果は以下の通りです。

Unit2とはCONNECT TC-5Dと記載されており、TESIRAコンフィグレーション内に TesiraConnect TC-5Dが追加された事が確認できます。

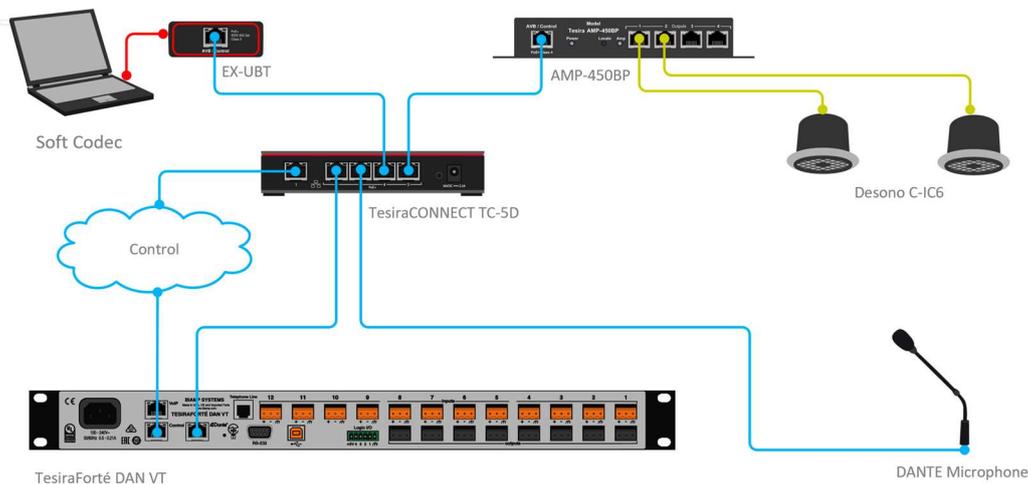
よって、この瞬間TesiraConnect TC-5Dは **メディアブリッジモード**として動作するように自動で設定されました。

Dante音声チャンネルをAVBストリームとしてTesiraFORTÉAVB VT4 (Unit:1) に変換して送受信しています。



AVBデバイスをDanteで構築されたTESIRAシステムに追加もできます

上記とは逆の考え方です。Tesira AMP-450BP、EX-UBTまたはTesiraForte AVBなどのAVBデバイスを、TC-5Dを介して Tesira Danteシステムに統合する事ももちろん可能です。



注：ParléMicsはTesira Danシステムに統合できません。
Parkeマイクとの専用の通信が必要で、AVBモデルのForte/SERVERにのみサポートされている為です。
注：Forte DANを接続する際はDanteポートとControlポートの両方をTesiraConnect TC-5Dに接続してください。

今後のシステムに関しては、TesiraForte AVBモデルをベースにシステムを構築する事で、簡単かつ少ないケーブルでDanteとAVBのメディアブリッジを構築する事が可能です。これまでは他社製品がDanteの場合、TESIRAもDanteモデルを採用してきましたが、今後は複数のTesira間のDanteコントローラーによるアサインは無くなり、コンパイラがAVBで自動で設定してくれます。つまり、コンフィグ設定にかかる時間を大幅に短縮できます。また、これまでDANにてインストールされた現場において、エクスペンダー等の追加が必要な場合にも活躍が期待されます。これからの時代はネットワーク間の縛りが解消されより自由な設計が期待されます。